

IT サービス導入計画レポート（作成例）

自分のテーマを書く（例：みんなが安心して暮らせる A 市へ）

1. 私が立てた「問い」と「仮説」

【問い】 5 億円の IT 予算で、何を選べば一番多くの市民が幸せになるだろうか？

【仮説】

自分の判断の軸を 1～2 行で書く。
例：何を優先するか、なぜそう考えたか…

2. 7 つのサービスを比べてみた（◎=強い ○=ふつう △=弱い）

判断の根拠になる項目を表にまとめ、比較する

サービス	予算	命に関わるか	使う人は多いか	お金に見合うか	選ぶ
災害情報アプリ	3,000 万	◎	◎	◎	○
高齢者見守り	8,000 万	…	…	…	…
遠隔医療	1.5 億	…	…	…	…
オンライン行政	1.2 億	…	…	…	…
デジタル教育	1 億	…	…	…	…
AI 信号制御	1 億	…	…	…	…
自動運転バス	2 億	…	…	…	…

3. 選んだ 5 つのサービスと予算（合計 万円／予備費 万円）

選んだサービスについて予算と理由を表にまとめる

サービス	予算	選んだ理由（仮説のどこに当てはまるか）
③ 災害情報アプリ	3,000 万円	【命を守る】一番安いのに、地震や水害で全市民の命を救える可能性がある。
…	…	…
…	…	…
…	…	…
…	…	…
合計	…	…

4. 効果の測り方（数字で確かめる）

・③災害アプリ：市民の登録率が 80%を超えたか

以下、選んだ他のサービスについても「何を数字で測るか」を 1 行ずつ書く

5. 心配なことと、その対策

・高齢者がスマホを使えないと、サービスの効果が出ない。 → 市役所や公民館で「スマホ教室」を月 2 回開く。

以下、他に心配なこと（例：個人情報・運用費・職員のスキル など）も同様に「→対策」の形で書く

6. ふり返し（自分で考えて分かったこと）

私は①自動運転バスと⑥AI 信号制御を選ばなかったが、これは「今の自分の判断」にすぎない。実際には、……

以下、選ばなかった理由の限界・自分の評価の主観性・1 年後の見直しの大切さ・探究を通して学んだことを、自分の言葉で続ける